Amundi
Investment Solutions

交付運用報告書

愛称：りそな ペア・ハイ インカム

アムンディ・米国・ユーロ高利回り債ファンド

追加型投信／海外／債券

第 44 作 成 期

第258期（決算日 2025年10月14日）
第259期（決算日 2025年11月12日）
第260期（決算日 2025年12月12日）
第261期（決算日 2026年 1 月13日）
第262期（決算日 2026年 2 月12日）
第263期（決算日 2026年 3 月12日）
作成対象期間（2025年９月13日～2026年３月12日）

第263期末（2026年３月12日）	
基 準 価 額	5,379円
純資産総額	3,560百万円
第258期～第263期	
騰　落　率	7.6%
分配金（税込み）合計	120円

（注）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

●受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
当ファンドはこの度、上記の決算を行いました。
当ファンドは、原則として、米国のハイイールド債市場へ投資する投資信託証券「TCWファンズ-TCW ハイ・イールド・ボンド・ファンド」および欧州のハイイールド債市場へ投資する投資信託証券「Amundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンド」に投資を行い、中長期的な信託財産の成長と安定的な収益確保を図ることを目指して運用を行うことを基本方針とします。投資信託証券の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。また、投資信託証券への投資にあたっては、分散投資を行うことを基本とします。当ファンドの投資対象である投資信託証券において、銘柄分散および企業調査や分析によって個別銘柄の信用リスクを低減するように努めます。原則として、為替ヘッジは行いません。
当作成対象期間につきましてもそれに沿った運用を行いました。
ここに運用状況についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

・当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。
【閲覧方法】
右記<お問い合わせ先>に記載されているホームページアドレスにアクセス⇒「ファンド情報」メニューから「ファンド・基準価額一覧」をクリック⇒当該一覧から当ファンドのファンド名称をクリック⇒運用報告書（全体版）をクリック（当ファンドが償還した場合は「ファンド情報」メニューの「償還ファンド一覧」からご覧ください）
・運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

アムンディ・ジャパン株式会社

〒105-0021 東京都港区東新橋1丁目9番2号

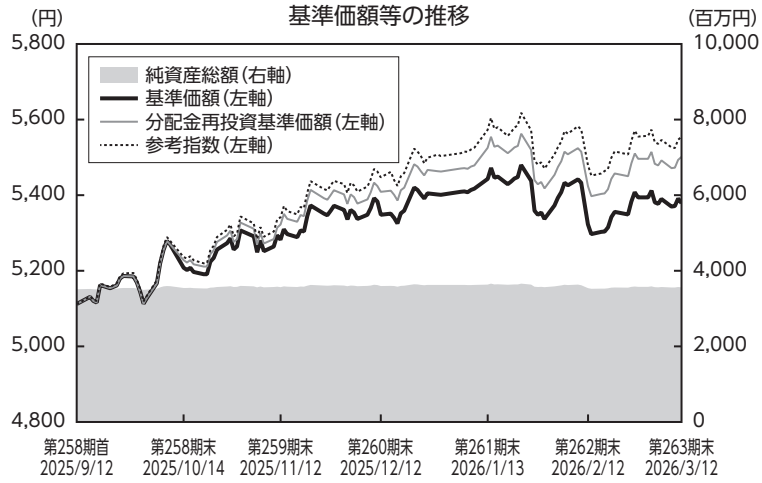
<お問い合わせ先>
お客様サポートライン：050-4561-2500
受付は委託会社の営業日の午前９時から午後５時まで
ホームページアドレス：https://www.amundi.co.jp/

< 5355201・5364912 >

運用経過

基準価額等の推移

第258期首	5,112円
第263期末	5,379円
既払分配金（税込み）	120円
騰落率	7.6% （分配金再投資ベース）



（注１）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注２）実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注３）参考指数は、ブルームバーグ・USコーポレート・ハイ・イールド・インデックス２％イシュアー・キャップ+ICE BofA European Currency High Yield Constrained Index（BB-B）です。
（注４）分配金再投資基準価額および参考指数は、2025年９月12日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、前作成期末比で上昇しました。

上昇要因

当作成期前半から半ばにかけての堅調な米欧のハイイールド債市場と、円安・米ドル高およびユーロ高の進行

下落要因

当作成期末にかけてリスク回避の動きが強まり米欧のハイイールド債市場が軟調となったことや、１月後半から２月半ばにかけて円高・米ドル安およびユーロ安傾向となったこと

１万口当たりの費用明細

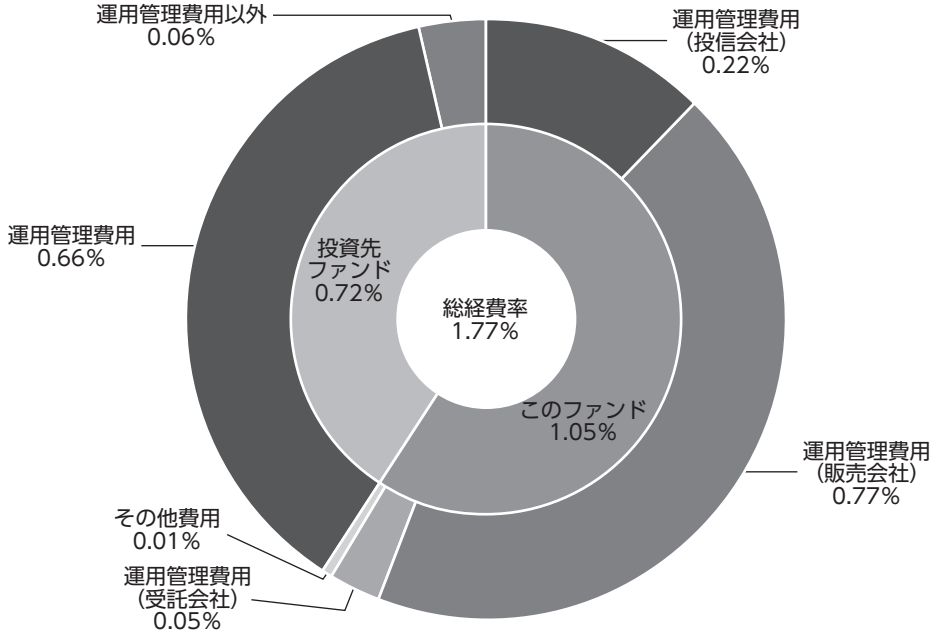
項　　目	第258期～第263期（2025年９月13日～2026年３月12日）		項　目　の　概　要
	金額	比率	
(a) 信　託　報　酬	28円	0.518%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投　信　会　社）	（ 6）	(0.109)	委託した資金の運用の対価
（販　売　会　社）	(20)	(0.382)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受　託　会　社）	（ 1）	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ　の　他　費　用	0	0.005	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監　査　費　用）	（ 0）	(0.005)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合　　計	28	0.523	
期中の平均基準価額は5,330円です。			

（注１）費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注２）消費税は報告日の税率を採用しています。
（注３）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注４）各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。
（注５）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

●総経費率

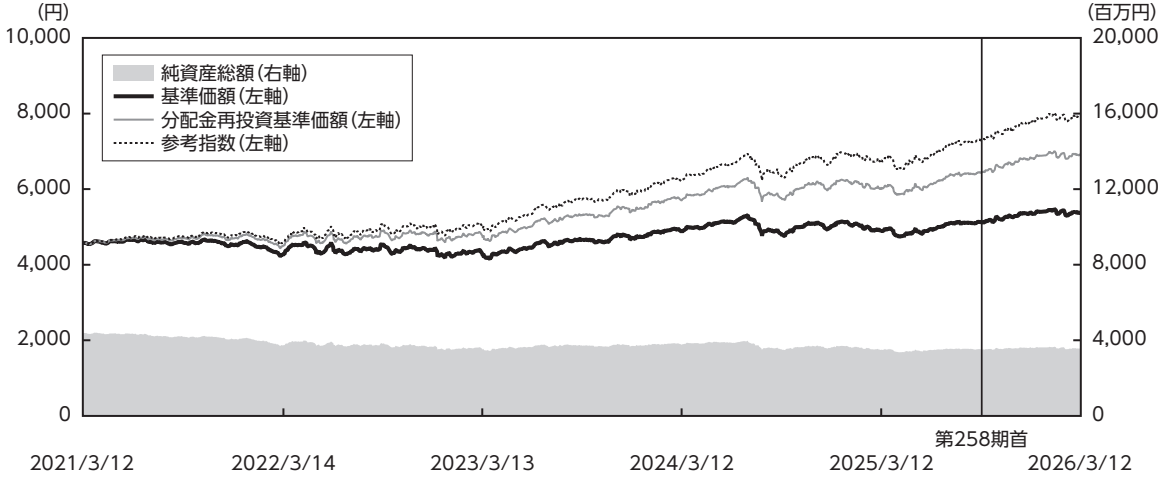
当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.77％です。



総経費率（①＋②＋③）	**1.77％**
①このファンドの費用の比率	1.05％
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.66％
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.06％

（注１）①の費用は、１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注３）各比率は、年率換算した値です。
（注４）投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。
（注５）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注６）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近５年間の基準価額等の推移　（2021年３月12日～2026年３月12日）



（注１）分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注２）実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注３）参考指数は、ブルームバーグ・USコーポレート・ハイ・イールド・インデックス２％イシュアー・キャップ+ICE BofA European Currency High Yield Constrained Index（BB-B）です。

（注４）分配金再投資基準価額および参考指数は、2021年３月12日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

最近５年間の年間騰落率

	2021/3/12 期首	2022/3/14 決算日	2023/3/13 決算日	2024/3/12 決算日	2025/3/12 決算日	2026/3/12 決算日
基準価額（円）	4,572	4,273	4,286	4,861	4,901	5,379
期間分配金合計（税込み）（円）	—	240	240	240	240	240
分配金再投資基準価額騰落率（%）	—	−1.5	5.9	19.5	5.8	15.0
参考指数騰落率（%）	—	0.4	9.2	23.7	8.8	17.5
純資産総額（百万円）	4,377	3,732	3,543	3,762	3,493	3,560

（注１）参考指数は、ブルームバーグ・USコーポレート・ハイ・イールド・インデックス２％イシュアー・キャップ+ICE BofA European Currency High Yield Constrained Index（BB-B）です。参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しております。

（注２）「Bloomberg®」およびブルームバーグ・USコーポレート・ハイ・イールド・インデックス２％イシュアー・キャップは、Bloomberg Finance L.P.および、同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limited（以下「BISL」）をはじめとする関連会社（以下、総称して「ブルームバーグ」）のサービスマークであり、アムンディ・アセットマネジメントによる特定の目的での使用のために使用許諾されています。ブルームバーグはアムンディ・アセットマネジメントとは提携しておらず、また、アムンディ・米国・ユーロ高利回り債ファンドを承認、支持、レビュー、推奨するものではありません。ブルームバーグは、アムンディ・米国・ユーロ高利回り債ファンドに関連するいかなるデータもしくは情報の適時性、正確性、または完全性についても保証しません。ICE BofA European Currency High Yield Constrained Index（BB-B）は、ICE Data Indices, LLC、その関係会社（「ICE Data」）および／又はその第三者サプライヤーの財産であり、アムンディ・ジャパン株式会社による使用のためにライセンスされています。ICE Dataおよびその第三者サプライヤーは、その使用に関して一切の責任を負いません。免責条項の全文については、https://www.amundi.co.jp/product/view/JP90C0000DV1をご参照ください。

投資環境

＜米国ハイイールド債市場＞

当作成期初め、米国政府機関の閉鎖が長引く中、米地方銀行の信用不安や米中貿易摩擦が懸念される場面があったものの、ハイテク株の上昇にけん引され株式市場が上昇する中、米国ハイイールド債市場は上昇しました。その後も、ＦＲＢ（米連邦準備理事会）の利下げ期待を受けたリスク選好の動きなどが支援材料になりました。年が明け、地政学的リスクや政策関連の報道が相次ぐ中、米景気の底堅さが意識されたことなども材料に堅調に推移した後、中東情勢の緊迫化などを受けてリスク回避の動きから軟調な動きとなりました。

＜欧州ハイイールド債市場＞

当作成期、欧州ハイイールド債市場はマクロ経済指標の改善や断続的なボラティリティ（価格変動性）上昇局面を背景に、小幅な動きにとどまりました。９月はボラティリティが低水準にとどまる中、高い利回りがリターンをけん引しました。10月は、フランスの政治的不安定化や中国の輸出減速を受けて市場が軟化した後、米中協議を受けて持ち直しました。また、同月にＦＲＢは0.25％の利下げを実施し、ユーロ圏のインフレ率は鈍化しました。12月は、ＦＲＢが0.25％の利下げを実施し、日銀が0.25％の利上げを行う中、欧州ハイイールド債市場はキャリー収益が主因となってプラスのリターンとなりました。2026年１月は、発行市場の活況に加え、地政学的情勢を背景とする米ドル安と金価格の急騰もあり、安定した推移となりました。２月はＡＩ（人工知能）やプライベート・デットをめぐる懸念から、銘柄選別色の強い展開となりました。ドイツ国債利回りは低下（債券価格は上昇）し、欧州ハイイールド債はキャリー収益がクレジットスプレッド（国債との利回り格差）拡大を吸収したことで、プラスのリターンとなりました。加えて、資金の純流入が継続したことで、需給面も引き続き相場の下支え要因となりました。

＜為替市場＞

当作成期の為替市場では、米ドルは147円台、ユーロは172円台でスタートしました。

米ドル／円相場は当作成期、上昇しました。９月に石破首相が退陣表明し次期自民党総裁に高市氏が選ばれると、財政規律の弛緩を懸念した市場では円が嫌気され、対米ドルで急落した後も、円は下落基調を維持しました。12月にはＦＲＢが利下げした一方で日銀が利上げするなど強弱材料が混在し、一進一退となりました。年明け後は１月下旬にニューヨーク連銀によるレートチェック実施の臆測があり円が対米ドルで一時強まる局面がありましたが、衆議院選挙で自民党が大勝した後は再び米ドル高・円安基調となりました。その後、中東情勢の悪化から原油価格が急騰したことによる貿易収支の悪化が懸念され、米ドル／円相場は159円台で当作成期末を迎えました。

ユーロ／円相場も当作成期、上昇しました。９月に石破首相が退陣表明し次期自民党総裁に高市氏が選ばれると、財政規律の弛緩を懸念した市場では円が嫌気され、対ユーロで急落した後も、円は下落基調を維持しました。年明けには当局介入の臆測から円が一時的に強まり対ユーロで短期的に上振れました。その後、中東の地政学的リスクの高まりを起点とした原油高を背景にやや円安基調となり、ユーロ／円相場は183円台で当作成期末を迎えました。

ポートフォリオ

<当ファンド>

当ファンドは、主として、米国のハイイールド債市場へ投資する「TCWファンズ-TCW ハイ・イールド・ボンド・ファンド」と欧州のハイイールド債市場へ投資する「Amundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンド」の毎月分配クラスに投資を行い、中長期的な信託財産の成長と安定的な収益確保を図ることを目指して運用を行いました。TCWファンズ-TCW ハイ・イールド・ボンド・ファンドとAmundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンドの二つのファンドにほぼ均等に投資を行いました。

（アムンディ・ジャパン株式会社）

<TCWファンズ-TCW ハイ・イールド・ボンド・ファンド>

クレジットスプレッドがタイトな状況の中、ボラティリティに対するリターンは限定だったものの、規律ある前向きなアプローチを維持しました。魅力的なキャリーや電力需要の増加の恩恵を受ける電力や天然ガスなどの銘柄に注目しました。通信や非景気循環型消費財の銘柄では、利益を確定するなどエクスポージャーを削減しました。また、一部の銘柄では、年限の異なる債券へ戦略的な切り替えを行いました。当作成期はディフェンシブな姿勢を維持しました。資本財や非景気循環型消費財の銘柄などがパフォーマンスにプラスに寄与しました。

（TCWインベストメント・マネジメント・カンパニー）

<Amundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンド>

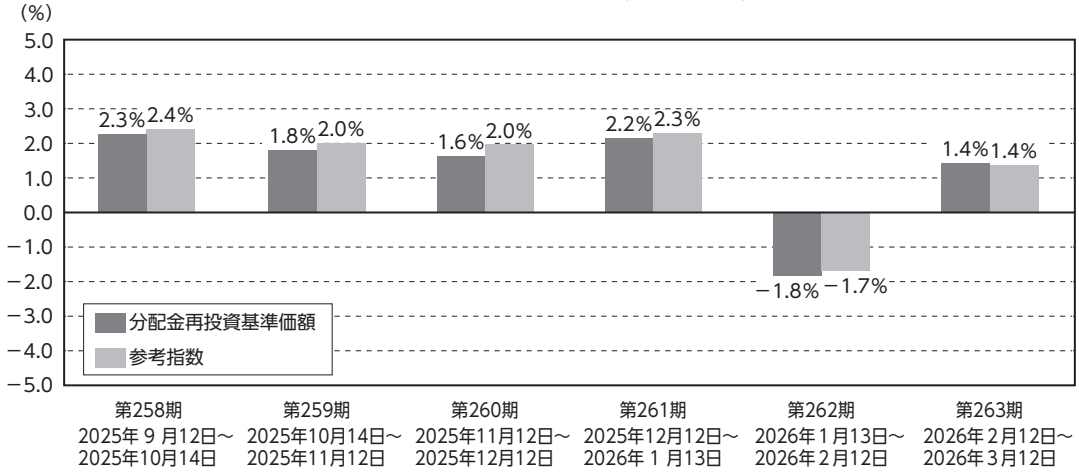
当作成期、当ファンドは劣後銀行債、ヘルスケア、小売、残存年限の短いハイブリッド社債へのエクスポージャーを拡大した一方で、高ベータ（市場全体の動きに比べ価格変動の度合いが高い）銘柄とテクノロジーのエクスポージャーを縮小しました。当ファンドはＢ格債および英国の銘柄に対する小幅なアンダーウェイトを維持しており、これが相対リターンの重しとなりました。

（アムンディ・アセットマネジメント）

ベンチマークとの差異

当ファンドは運用成果の目標基準となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



（注１）ファンドの騰落率は、分配金（税込み）が分配時に再投資されたものとみなして計算したものです。
（注２）参考指数はブルームバーグ・USコーポレート・ハイ・イールド・インデックス２％イシュアー・キャップ+ICE BofA European Currency High Yield Constrained Index（BB-B）です。参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しております。

分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案した結果、以下のとおり分配を行いました。なお、収益分配に充てず、信託財産内に留保した収益については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

（単位：円・１万口当たり・税込み）

項　目	第258期 (2025年９月13日 ～2025年10月14日)	第259期 (2025年10月15日 ～2025年11月12日)	第260期 (2025年11月13日 ～2025年12月12日)	第261期 (2025年12月13日 ～2026年１月13日)	第262期 (2026年１月14日 ～2026年２月12日)	第263期 (2026年２月13日 ～2026年３月12日)
当期分配金	20	20	20	20	20	20
（対基準価額比率）	(0.383%)	(0.377%)	(0.373%)	(0.366%)	(0.374%)	(0.370%)
当期の収益	20	20	20	20	20	20
当期の収益以外	－	－	－	－	－	－
翌期繰越分配対象額	4,379	4,418	4,459	4,501	4,536	4,573

・「対基準価額比率」は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。
・「当期の収益」「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<当ファンド>

TCWファンズ-TCW ハイ・イールド・ボンド・ファンドとAmundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンドの投資比率は今後も現状を維持する予定です。

（アムンディ・ジャパン株式会社）

<TCWファンズ-TCW ハイ・イールド・ボンド・ファンド>

経済の安定は、引き続き消費者と労働市場の動向に左右されると考えますが、いずれにも不安定化の兆しがみられます。しかし、こうしたリスクはクレジット市場のバリュエーションに十分に反映されていないと思われます。利回り水準や、クレジットスプレッドは過去の水準と比べてもタイトな水準であることなどから、市場は今後のボラティリティを限定的に織り込んでいるとみています。このため、引き受けるリスクに見合った利回り水準になるまでは、引き続きディフェンシブな姿勢を維持する方針です。

（TCWインベストメント・マネジメント・カンパニー）

<Amundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンド>

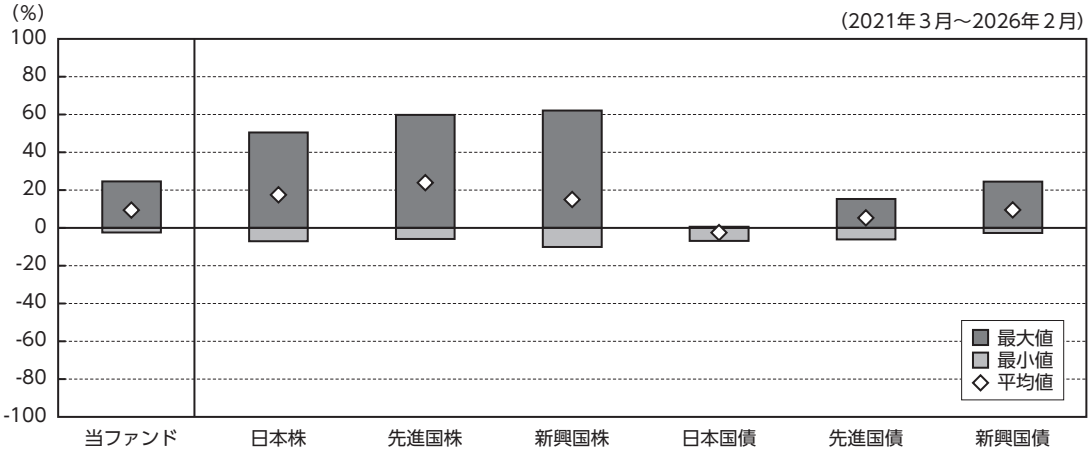
経済の不確実性に加え、政策面および地政学的リスクを踏まえると、クレジットスプレッドのさらなる縮小余地は限定的とみています。銘柄間・セクター間のばらつきが引き続き大きいとみられる環境下では、欧州ハイイールド債のリターンは主として高い利回りによるものになると考えています。当ファンドでは、今後12ヵ月のデフォルト（債務不履行）率を３％未満と見込む一方、引き続きアクティブなセクター配分およびクレジット選択を重視しています。

（アムンディ・アセットマネジメント）

ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2004年３月19日から無期限です。	
運用方針	原則として、米国のハイイールド債市場へ投資する投資信託証券「TCWファンズ-TCW ハイ・イールド・ボンド・ファンド」および欧州のハイイールド債市場へ投資する投資信託証券「Amundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンド」に投資を行い、中長期的な信託財産の成長と安定的な収益確保を図ることを目指して運用を行うことを基本方針とします。原則として、為替ヘッジは行いません。	
主要投資対象	アムンディ・米国・ユーロ高利回り債ファンド	TCWファンズ-TCW ハイ・イールド・ボンド・ファンド（XJシェアクラス） Amundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンド（毎月分配クラス）
	TCWファンズ-TCW ハイ・イールド・ボンド・ファンド（XJシェアクラス）	米国のハイイールド債
	Amundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンド（毎月分配クラス）	欧州のハイイールド債
運用方法	① 原則として、米国のハイイールド債市場へ投資する投資信託証券および欧州のハイイールド債市場へ投資する投資信託証券に投資します。 ② 投資信託証券の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。 ③ 投資信託証券への投資にあたっては、分散投資を行うことを基本とします。当ファンドの投資対象である投資信託証券において、銘柄分散および企業調査や分析によって個別銘柄の信用リスクを低減するように努めます。 ④ 投資比率の変更は、委託会社の判断により適宜行われます。 ⑤ 投資信託証券は、委託会社の判断により、適宜見直しを行います。	
分配方針	毎決算時（年12回、原則毎月12日。休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子･配当収入と売買益（評価益を含みます）等の全額とします。分配金額は、委託会社が基準価額水準および市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益額が少額の場合には分配を行わないこともあります。	

当ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



当ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率

(%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	9.4	17.5	23.9	15.0	−2.5	5.3	9.5
最大値	24.6	50.5	59.8	62.1	0.6	15.3	24.5
最小値	−2.5	−7.1	−5.8	−10.1	−6.9	−6.1	−2.7

(注1) 上記は、当ファンドと他の代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。
(注2) 上記は、2021年3月から2026年2月の5年間の各月末における直近1年間騰落率の平均値・最大値・最小値を、当ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

各資産クラスの指数

日 本 株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
先進国株：MSCIコクサイ・インデックス（税引後配当込み、円ベース）
新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（税引後配当込み、円ベース）
日本国債：NOMURA-BPI国債
先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。
(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。

・全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
・当ファンドは、分配金（税込み）が分配時に再投資されたものとみなして計算した年間騰落率に基づき計算されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。
・騰落率は直近月末から遡って算出した結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容

組入ファンド

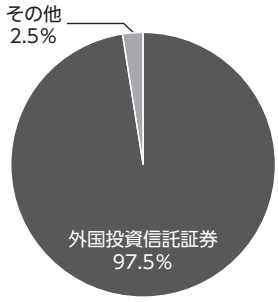
2026年３月12日現在
（組入銘柄数：２銘柄）

	銘　柄	通貨	比率
1	TCWファンズ-TCW ハイ・イールド・ボンド・ファンド（XJシェアクラス）	円	50.1％
2	Amundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンド（毎月分配クラス）	ユーロ	47.4％

（注１）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注２）銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されております。

種別構成

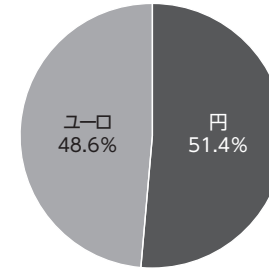
資産別配分



国別配分



通貨別配分



（注１）資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。
（注２）国別配分および通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。
（注３）比率は、小数点以下第２位を四捨五入しております。

純資産等

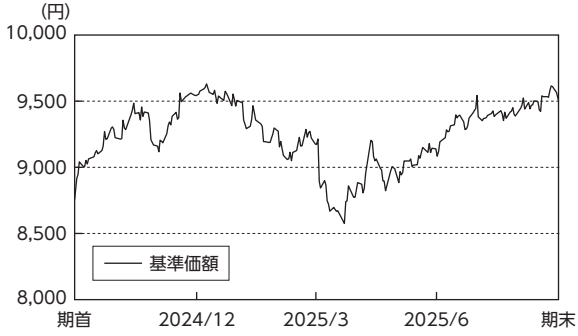
項目	第258期末 2025年10月14日	第259期末 2025年11月12日	第260期末 2025年12月12日	第261期末 2026年１月13日	第262期末 2026年２月12日	第263期末 2026年３月12日
純資産総額	3,546,033,507円	3,564,879,145円	3,596,121,778円	3,635,993,329円	3,542,202,402円	3,560,387,225円
受益権総口数	6,808,819,731口	6,749,305,131口	6,724,835,647口	6,680,092,656口	6,654,525,692口	6,618,559,534口
１万口当たり基準価額	5,208円	5,282円	5,348円	5,443円	5,323円	5,379円

※当作成期間（第258期～第263期）中における追加設定元本額は41,347,129円、同解約元本額は286,954,702円です。

組入ファンドの概要
<TCWファンズ-TCW ハイ・イールド・ボンド・ファンド>

決算日：2025年９月30日
(計算期間：2024年10月１日～2025年９月30日)
「基準価額の推移」は組入シェアクラスの内容ですが、他の開示情報につきましては、組入ファンド全体の内容を掲載しています。

基準価額の推移（XJシェアクラス）



(注) 基準価額は、収益分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

組入上位10銘柄

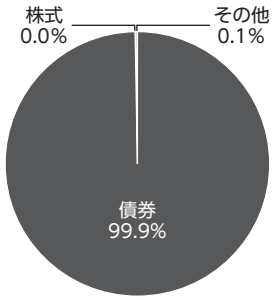
2025年９月30日現在
(組入銘柄数：198銘柄)

	銘柄	通貨	発行国	比率
1	GRAPHIC PACKAGING INTERN 3.5% 15/03/2028	米ドル	アメリカ	1.6%
2	CITIGROUP INC PERP 31/12/2099	米ドル	アメリカ	1.5%
3	CSC HOLDINGS LLC 6.5% 01/02/2029	米ドル	アメリカ	1.4%
4	VENTURE GLOBAL LNG INC 9.875% 01/02/2032	米ドル	アメリカ	1.4%
5	IQVIA INC 5% 15/05/2027	米ドル	アメリカ	1.3%
6	SBA COMMUNICATION CORP 01/02/2029	米ドル	アメリカ	1.3%
7	MOLINA HEALTHCARE INC 3.875% 15/05/2032	米ドル	アメリカ	1.3%
8	PNC FINANCIAL SERVICES VAR PERP	米ドル	アメリカ	1.2%
9	BALL CORP 3.125% 15/09/2031	米ドル	アメリカ	1.2%
10	SALED AIR CORP 4% 01/12/2027	米ドル	アメリカ	1.1%

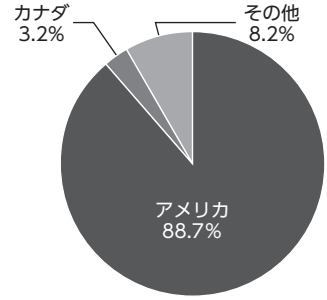
(注１) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
(注２) 全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されております。

種別構成

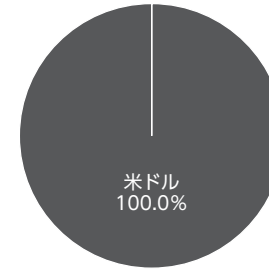
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注１) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。
(注２) 国別配分および通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。
(注３) 比率は、小数点以下第２位を四捨五入しております。

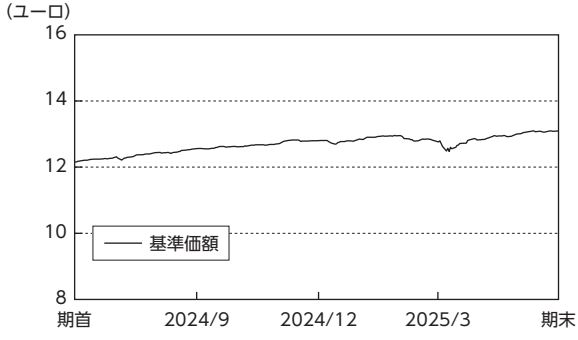
１万口当たりの費用明細

該当情報の取得ができないため、掲載はしておりません。

組入ファンドの概要
＜Amundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンド＞

決算日：2025年６月30日
（計算期間：2024年７月１日～2025年６月30日）
「基準価額の推移」は組入シェアクラスの内容ですが、他の開示情報につきましては、組入ファンド全体の内容を掲載しています。

基準価額の推移（組入シェアクラス）



（注）基準価額は、収益分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

組入上位10銘柄

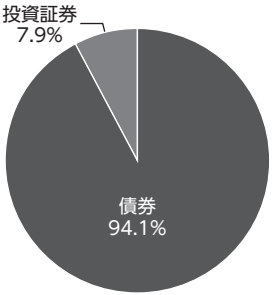
2025年６月30日現在
（組入銘柄数：248銘柄）

	銘柄	通貨	発行国	比率
1	AMUNDI EURO LIQUIDITY SELECT FCP	ユーロ	フランス	4.4%
2	AMUNDI EURO LIQUIDITY SHORT TERM RESPONSIBLE FCP	ユーロ	フランス	1.5%
3	ELECTRICITE FRANCESA VAR PERPETUAL	ユーロ	フランス	1.2%
4	DUFRY ONE BV 3.375% 15/04/2028	ユーロ	オランダ	1.2%
5	BFT AUREUS ISR FCP	ユーロ	フランス	1.1%
6	ILIAD HOLDING SAS 5.625% 15/10/2028	ユーロ	フランス	1.0%
7	PETROLEOS MEXICANOS 2.75% 21/04/2027	ユーロ	メキシコ	1.0%
8	TERNA RETE ELETTRICA VAR PERP 31/12/2099	ユーロ	イタリア	1.0%
9	CIDRON AIDA FINCO SARL 7.0% 27/10/2031	ユーロ	ルクセンブルク	1.0%
10	TELEFONICA EUROPE BV PERPTUAL 31/12/2099	ユーロ	オランダ	0.9%

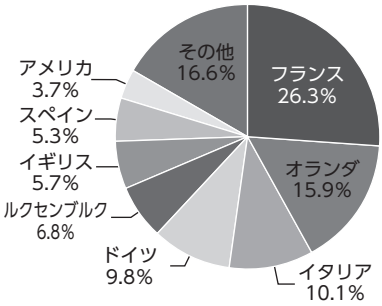
（注１）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注２）全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されております。

種別構成

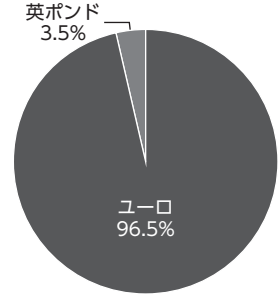
資産別配分



国別配分



通貨別配分



（注１）資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。
（注２）国別配分および通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。
（注３）比率は、小数点以下第２位を四捨五入しております。

１万口当たりの費用明細

該当情報の取得ができないため、掲載はしておりません。

指数に関して

◇「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

• 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。TOPIXの指数値およびTOPIXにかかる標章または商標は、株式会社ＪＰＸ総研または株式会社ＪＰＸ総研の関連会社（以下「ＪＰＸ」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウおよびTOPIXにかかる標章または商標に関するすべての権利はＪＰＸが有します。ＪＰＸは、TOPIXの指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。本商品は、ＪＰＸにより提供、保証または販売されるものではなく、本商品の設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもＪＰＸは責任を負いません。

• MSCIコクサイ・インデックス（税引後配当込み、円ベース）

MSCIコクサイ・インデックスとは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有します。

• MSCIエマージング・マーケット・インデックス（税引後配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックスとは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有します。

• NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債とは、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社（以下「NFRC」という。）が公表する、国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。同指数の知的財産権とその他一切の権利はNFRCに帰属します。

• FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）とは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

• JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイドとは、J.P.Morgan Securities LLCが算出し公表している、現地通貨建のエマージング・マーケット債で構成されている指数です。同指数の著作権はJ.P.Morgan Securities LLCに帰属します。


Amundi
Investment Solutions
Trust must be earned